

平成 30 年度 研究成果報告書  
Research Achievement Report FY2018

講座名・職名 Course Title・Job Title	ヨーロッパ・アメリカ II 講座・教授
氏名 Name	高階早苗
専門分野 Academic Field	近・現代フランス文学

主たる研究テーマ Principal Research Subject	19 世紀フランス文学における私的空間と公的空間
研究計画 (400 字~500 字で記入すること。) Research Plan (Approximately 100 Words)	
<p>研究計画に従い以下の 3 つの方法で 19~20 世紀フランス文学における私的空間と公的空間について情報を収集し、論文の執筆に取り組んだ。</p> <p>(1) 東京大学他の図書館にて社会学・芸術関連の資料を収集した。社会学関連の資料からは、19 世紀においてブルジョワジーの振興を背景に私的空間という概念が生まれ、定着していった経緯を確認した。その資料として建造物の間取り、レストランの発展、絵画に描かれるモチーフなどを検証していった。</p> <p>(2) マラルメ、ヴェルレーヌ、モーパッサン、ゾラ、コレットなど、女主人公の私室が舞台となる詩や小説をいくつか取り上げ分析していった。ゾラやモーパッサン、コレットの場合、当時の女性(主婦・娼婦など)の社会的背景の影響が如実に現れていることが発見できた。その際多かれ少なかれ見られたのが、閉じた私的空間に、主人公の置かれた境遇や心情を重ね合わせるものであった。心情と空間をリンクさせる技法はヴェルレーヌやマラルメではむしろ普遍的な心象風景や抽象概念と繋がるものとして描かれている。</p> <p>(3) 劇場、競馬場、ダンスホール、キャバレーなどの公的空間と、レストランの個室などの半公的空間については現在検討中であり、更なる情報収集と作品分析が必要である。</p> <p>(1)(2) についてはある程度の分量が執筆できており、(3) の分量が多くなるようであれば何回かに分けて発表することを検討している。</p>	